

告知の入口を考える

告知が実際のものとしてやってくることになった今、皆さんはどのように考えていますか？『告知はするつもりだけど、具体的にはいつ、「何を」どのように伝えたらいいのだろうか。』という不安や疑問があるのは自然なことだと思います。そこで第一回当事者家族の会では、まず一番に、告知の入り口に焦点を当てることにしました。『子どもに伝えたいことは何か』『なぜ告知するのか』『どのように伝えるのか』を具体的に考える機会とし、告知のハードルを下げる事ができればと思っています。

隠し事のない幸せな家族の一步を踏み出す準備をしましょう。

はらメディカルクリニック 副院長

鴨下 桂子

8/20
sun

時間：12:00～15:00

場所：クリニック近くのワークスペース

参加費：夫婦で 4,000 円（オリジナル絵本の印刷・製本・自宅への配送代含む）

対象者：①当院の AID・IVF-D で妊娠中（卒業後）のご夫婦

②当院の AID で生まれた 3 歳以下の子どもを持つ夫婦

申込方法

右の QR コードよりお申込みください。

定員：40 組 80 名（先着順）

申込締切：6 月 30 日（金）

締切後に妊娠・卒業した方は、定員に空きがある場合はご参加いただけますのでご卒業日に受付にお申し出ください。



program

- ・告知（テリング）について考える
- ・先輩パパママの告知体験談
- ・ワークショップ

ワークショップ

「告知の入口に使える世界に一冊の絵本を作ろう」

絵本のイラストと基本ストーリーは用意してありますので、お二人には、お子さんに伝えたいメッセージを考えていただき、それをストーリーに加ええます。そして、絵本のサブタイトルを決め、作家欄に入れる夫婦の名前を決めます。

お子さんが生まれたら、お名前をクリニックまでご連絡ください。夫婦が作ったオリジナルストーリーにお子様のお名前を入れて、印刷・製本し、世界に一冊だけの絵本をご自宅に配送します。

絵本のイラストは、鴨下医師が大好きな
絵本作家のよしだるみさんが手掛けてくださいます。
はじめてお話しした時からこの治療の大切さを理解してくだ
さり、その 4 日後には当院を見学するために
京都からお越しいただきました。

ニューヨーク、京都、台湾で活動されています。

<https://www.ruruontheroof.com/>

